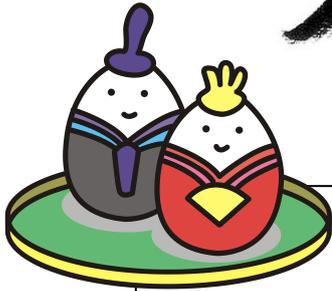


メールにいがた



第100号 2013年2月
新潟県点字図書館だより

今号の内容

1 お役立ち情報 3ページ

- 第63回新潟県視覚障害者文化祭の文芸作品（俳句、短歌、川柳）を募集しています
- 訪問マッサージ学習会「マッサージの保険制度を守り働きがいのある仕事をするために」のご案内
- 第10回盲導犬宿泊体験セミナーのご案内
- 第28回全国盲人写真展作品募集のご案内
- 新潟県視覚障害者福祉協会提供「BSNラジオスポット」2月の放送時間のご案内

2 図書紹介コーナー 6ページ

- 図書選定委員 鈴木桂子さん（新潟市西区）の図書紹介

あぶくま
「阿武隈共和国独立宣言」

むらくもつかさ
村雲司著 現代書館出版

3 功労表彰などの受章者の紹介 6ページ

【利用者】

- 平成24年度「心の輪を広げる体験作文」表彰

4 連載・新潟県点字図書館のあゆみ 7ページ

- 「私と新潟県点字図書館」第10回 山本安光

5 トーク広場 9ページ

- 利用者（新潟県視覚障害者福祉協会理事長）
松永秀夫さん（新潟市江南区）
～これからの点字図書館～

6 12月・1月登録の新刊製作ボランティアの紹介 10ページ

- 点訳22名、音声訳15名、デイジー編集6名

7 点字図書館から 10 ページ

- 第 148 回芥川賞・直木賞受賞作の貸出し予約を受付けます
- 寄贈図書 of 貸出しご案内
平成 24 年度版「ユニバーサルデザイン配慮家電製品リスト
～高齢者や障がいのある人にも使いやすいと思われる家電製品～
(墨字・点字併記版)」
- ラジオでテレビ番組が楽しめる！
 - ☆ 地デジテレビ音声の様々な方法による楽しみ方
 - ☆ ワンセグラジオ商品一覧
- 平成 25 年度のデジタル音声再生機（プレクストーク）貸出し手続き（新規・更新）のお知らせ
- デージー図書を聞くための専用機器の操作説明を希望に応じて実施しています！
- 当館製作録音雑誌の完全デージー化のお知らせ
- 利用者アンケートへのご協力ありがとうございました

8 Q&A 14 ページ

- Q:「メールにいがた」新刊案内の電子メール版文中に、分かりづらい表現がある。
- Q: デージー図書もカセットのように、聴き終わった後で図書の先頭に戻す（巻き戻しをする）必要がありますか。

9 開館及び電話受付時間並びに 2～4 月の休館日 14 ページ

巻末「日常生活支援機器情報コーナー no.4」
Brai Talker（ブライトーカー）
掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏 様

- ※ 新刊案内（12～1 月分）・別冊
点字 42 タイトル、音訳 61 タイトル

1 お役立ち情報

●第 63 回新潟県視覚障害者文化祭の文芸作品（俳句、短歌、川柳）を募集しています

毎年開催されている県内視覚障害者の文化の祭典、今年は 6 月 30 日（日）に開催される予定です。この文化祭の一環として、新潟県視覚障害者福祉協会が県内視覚障害者の皆さんから、俳句、短歌、川柳を次の内容で募集しています。

☆募集：俳句、短歌、川柳の 3 部門

☆募集内容：1 人各 3 首・3 句以内、自作、未発表、重複応募でないもの。誤字・脱字・誤読等を防ぐために、難しい漢字や語句にはふり仮名を付けて下さい。

☆題：俳句及び短歌は自由題、川柳は「順番」、「積む」

☆選者：俳句は安田畝風（やすだ ほふう）先生

短歌は高橋卓二（たかはし たくじ）先生

川柳は真壁芳郎（まかべ よしろう）先生

☆投稿料：作品数に関わらず、視覚障害者福祉協会会員は 1,000 円、非会員は 1,500 円。投稿料のない作品は選考から外されます。

投稿料を送金する場合は、郵便小為替をご利用下さい。

☆表彰：部門ごとに県知事賞 1 編、県議会議長賞 1 編、新潟県視覚障害者福祉協会賞 1 編を予定しています。表彰は、第 63 回新潟県視覚障害者文化祭で行います。

☆応募締切：平成 25 年 4 月 5 日（金）新潟県視覚障害者福祉協会必着、締切り後は無効です。

☆作品・投稿料の送付及び問合せ先：

新潟県視覚障害者福祉協会事務局

〒 950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1

TEL 025-381-8130 FAX 025-381-8120

●訪問マッサージ学習会「マッサージの保険制度を守り働きがいのある仕事をするために」のご案内

マッサージを業としている方や訪問マッサージに興味のある方ならどなたでも参加可能です。

- ☆日時：平成 25 年 3 月 31 日（日）午前 10 時～午後 1 時
- ☆受付：午前 9 時 30 分～
- ☆主催：訪問マッサージ友の会準備会
- ☆会場：新潟市総合福祉会館 407（新潟市中央区八千代 1-3-1）
- ☆参加費：500 円(資料代)
- ☆講師：東郷 進（とうごう すすむ）さん
厚生労働省・医道審議会あはき師柔整師分科会臨時委員、筑波大学理療科教員養成施設講師
- ☆内容：マッサージの保険について、働きがいのある訪問マッサージについて学習します。
- ☆お問合せ・連絡先：鈴木 洋（すすき ひろし 当館利用者）
TEL（携帯）090-7725-2227
E-mail acappellahiro@ybb.ne.jp

●第 10 回盲導犬宿泊体験セミナーのご案内

- 盲導犬は、目の不自由な方を安全に目的地に誘導することが仕事です。このセミナーでは、実際に盲導犬との歩行や生活体験をとおして、盲導犬の知識を一層深めていただくことを目的としています。
- ☆開催日時：平成 25 年 3 月 23 日（土）午後 1 時～24 日（日）午後 2 時まで
 - ☆会場及び宿泊先：北海道盲導犬協会
〒005-0030 札幌市南区南 30 条西 8 丁目 1-1
 - ☆参加対象者：視覚障害による身体障害者手帳をお持ちの 15 歳以上の方で、これまで盲導犬との生活を体験したことがない方。（お一人での参加が不安な方は、同伴者の参加も可能です。）
 - ☆参加費：2,500 円（食事代、宿泊費込み）
 - ☆セミナー内容：盲導犬との体験歩行、盲導犬の管理体験、交流会
 - ☆送迎：北海道盲導犬協会の最寄り駅や新千歳空港まで送迎ができます。
 - ☆申込み締切り：平成 25 年 2 月 28 日（木）
 - ☆申込み・問合わせ先：公益財団法人 北海道盲導犬協会
〒005-0030 札幌市南区南 30 条西 8 丁目 1-1
TEL 011-582-8222 FAX 011-582-7715
E-mail k-souma@h-guidedog.org

☆その他：盲導犬に興味がある方で、今回残念ながら参加できない方には、別途相談を受け付けています。是非ご連絡下さい。

●第28回全国盲人写真展作品募集のご案内

テーマは自由です。表題は応募者で付けて下さい。

☆応募資格：視覚に障害のある方

☆応募方法：キャビネサイズに焼いた作品（作品の裏面に必要事項を記載した応募票を貼り付けて下さい。）

☆応募票記載事項：1 題名、2 氏名（フリガナを付けて下さい。）、3 郵便番号および住所、4 電話番号、5 年齢、6 障害等級、7 カメラ歴年数、8 応募回数

☆応募点数：5 作品まで（作品ネガは返却しません。）

☆応募締切り：平成 25 年 3 月末日（必着）

☆審査結果発表：平成 25 年 4 月文書で通知

☆作品展開催日：平成 25 年 5 月 20 日（月）～25 日（土）

☆作品展会場：新宿モノリス 1 階アトリウム

〒163-0990 東京都新宿区西新宿2丁目3-1

☆応募・問合せ先：社団法人日本文化協会「光のプレゼント運動委員会」
第28回全国盲人写真展事務局

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-19-9 ビクトビル9階
TEL 03-3661-5517 FAX 03-3663-2723

●新潟県視覚障害者福祉協会提供「BSNラジオスポット」2月の放送時間のご案内

視覚障害者のための福祉事業に関する情報を提供しています。

2月の放送予定

4日（月）午後5時29分頃、8日（金）午後1時30分頃、
12日（火）午前10時30分頃、23日（土）午後0時59分頃、
25日（月）午前11時18分頃、28日（木）午前7時29分頃



2 図書紹介コーナー

図書選定委員 鈴木桂子（すずき けいこ）さん

あぶくま 「阿武隈共和国独立宣言」

村雲 司（ムラクモ、ツカサ）著 現代書館（2012年）

昨年の十月初旬、新潟日報の『現論』に新潟市出身の文芸評論家・斎藤美奈子氏の書かれた「脱原発論」という論文の中に引用されていたことにより私はこの著書を知りました。東日本大震災からやがて二年目を迎えようとしているとき、国の「2030年代に原発稼働ゼロ」の方針が見送られた矢先でした。

この小説は、東京電力福島第一原発の事故で「帰宅困難区域」に指定された福島県相馬郡阿武隈村（実在しない架空の村）の老人達が日本政府に抗議して独立を宣言するという挑発的で刺激的な内容なのです。

国民の条件は65歳以上であること。汚染された大地に住み続け、自分たちが滅びてゆく姿を見せることにより原子力がいかに危険か身をもって知らしめるために捨て身の決意をした者の結集である。この独立を保障するための「核武装」を宣言する。それには高レベルの放射性物質による汚染土を乾燥させ三尺玉に詰めたものを何百発も用意している。この独立国を鎮圧しようとするれば躊躇なくこの三尺玉を打ち上げる…等々の造反作戦。

これらはすべてフィクションですが、現在進行中の出来事とリンクしたストーリーです。現実には帰還困難地域に指定され、避難生活を余儀なくされている多くの人達、とりわけ老人達の苦しみや怒りを想うと胸が痛むばかりです。小説の中の「阿武隈村」が独立する2013年3月11日が迫っています。

点字：製作中、デイジー：製作中

3 功労表彰等の受賞者の紹介

【当館利用者】

●平成24年度「心の輪を広げる体験作文」表彰

内閣府では、障害者に対する国民の理解を促進するため、毎年「心の

輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」の公募・表彰等により啓発活動を実施しています。本年度は、当館利用者の次の作品が新潟市の表彰を受けました。

(平成24年12月18日・新潟市優秀作品表彰)

「心の輪を広げる体験作文」

- ・優秀賞 相田重子さん 「心をつなぐ紙細工」
- ・奨励賞 上林洋子さん 「天狗の庭のお花畑」

4 連載・新潟県点字図書館のあゆみ

「私と新潟県点字図書館 第10回」(山本 安光)

平成に入ると新潟県点字図書館にも大きな変動がありました。1つ目は、点訳にパソコンが導入されたこと。2つ目は図書館運営が県立から民営に移行したこと。3つ目はデイジー図書の貸出開始です。今回は、1つ目のパソコン導入について書きます。

新潟県点字図書館に点訳用パソコンが入ったのは、点訳者を志しておられた角和隆子(かくわたかこ)様のご遺族から、平成3年にご寄贈を受けたことによるものでした。ご遺族から最初にお話を伺った時は、「100万円位で何かお役に立つものを」との申し出でした。そこで、当時まだ高価だったパソコンと点字プリンターをお願いしました。機種選定を全国点字図書館協議会(現在、全国視覚障害者情報提供施設協会)に相談したところ、点字プリンターについては、「ジェイ・ティーアール社のESA721」(当時価格で100万円)が耐久性や機能性が高く良いとの助言もあり、ご遺族へは、「パソコンは無理でも点字プリンターは是非!」とお願いしました。ご遺族は快く承諾して下さるとともに、更にパソコンと点訳ソフト(ブレイルスター)を含めて1,699,500円のご寄付をいただくことになったのです。このプリンターは、現在でも学習点訳の図表や、点訳絵本の点図絵など幅広く活用させていただいています。

また当時は、利用者の中にもパソコンを自由に活用されている方が多くなってきた時でした。昭和63(1988)年に日本アイ・ビー・エム社の社会貢献事業として、全国からの点字データを利用者の共通財産とし

て自由に使えるシステム「てんやく広場」（10年後の1998年に「ないぶネット」に改称され、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するネットワークとなる。更に2010年に「サピエ」と改称される。）が始まっていました。

新潟県でもボランティア団体（新潟点燈虫）がプリンティングセンター（データのアップ・ダウンロードができる機関）として、「てんやく広場」に参加されて、県内にパソコン点訳を広めるきっかけになってくれました。

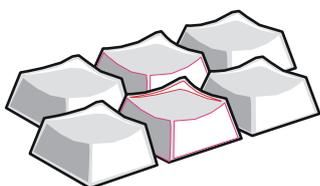
当時新潟県点字図書館は新潟県直営であったこともあり、社会貢献であったとしても、一企業が開発したシステムである「てんやく広場」への参加が許可されなかったことから、図書館の1室をプリンティングセンターとして点燈虫に提供することになったのです。

しかし、パソコンによる点訳は、ボランティアのパソコン自己購入等により少しずつ増えていきました。利用者からは、機械で印刷する点字は「点の間隔が広く読みにくい」等の意見は出ましたが、徐々にその声は「きれいな点字で読みやすい」、「古い本もパソコン点訳にならないか」などと変わってきました。

その後、平成10年3月に新潟県点字図書館も「てんやく広場」に参加し、データのアップ・ダウンロードができるセンターとして活動を始めました。そして、平成16年（2004）パソコン点訳に全面移行しました。

これらのネットワークシステムに参加したことにより、点字図書館の蔵書の充実と貸出しの効率化、スピードが図られました。それは、次に示す点字図書館の貸出し実績にも表れています。

昭和44年（1969）3,168冊、昭和54年（1979）4513冊、平成元年（1989）4,150冊 平成11年（1999）6,708冊でした。



5 トーク広場

利用者・新潟県視覚障害者福祉協会理事長 松永秀夫（新潟市江南区）

～これからの点字図書館～

今日のサピエ図書館を開いてみると、デイジーが29冊、点字が22冊、本日の新刊登録として登録されていました。毎日数多くの本が登録されています。インターネットでサピエ図書館から、そのデータをダウンロードし多くの本が読めるようになっています。

私が点字図書館に利用登録をしたのは、盲学校に入学した昭和48年でした。最初は録音で医学書を聞き、点字が読めるようになってからは点訳書を借りました。読むのに時間がかかること、郵便局へ返すのが大変だったことを思い出します。今は家にいて読みたい本を簡単に手にすることができます。IT技術の進歩は、私たちの読書環境を大きく変えました。視覚に障害があっても、パソコンを使うことができるようになったからです。

これからの点字図書館はどうなっていくのでしょうか。著作権の関係もありますから、音声訳、点訳ボランティアさんの力をお借りして点字図書館が本を作り、そのデータをサピエに登録していくのは変わらないと思いますが、新刊発行後は今より短期間でサピエに登録されるようになるでしょうし、もっともっと多くの本が入手できるようになると思います。希望する本を点字図書館から送ってもらえると同時に、自宅でサピエ図書館から直接入手する人も増えていくでしょう。そして、これからは点訳、音声訳の本を製作して貸し出すという役割の他に、視覚障害者に様々な生活情報を提供するという役割が大きくなっていくと思います。

国会では障害者差別禁止法が検討されていますが、視覚障害者の差別というと、情報提供が考えられます。私たちの生活に必要な情報が手元に届いているでしょうか。必要な生活情報を確実に入手するには、情報提供施設としての点字図書館機能の充実が望まれます。職員も音声や点字の技術を持った方だけではなく、IT技術を持った職員が必要になります。

現在、点字図書館は県から指定管理という形式で、新潟県視覚障害者

福祉協会が管理・運営を受託していますが、これからは視覚障害者にどのような情報をどのような方法で提供していくべきか、私たち利用者も考えて行かなければならないと思っています。

6 12月・1月登録の新刊製作ボランティアの紹介 (五十音順敬称略)

【点訳】大竹とも子/岡武文/岡本徹子/荻野妙子/春日カズエ/加藤良子
菊地啓子/桑原けい子/小林みつ子/小森和子/佐藤久美子/高桑和子
高田忍/高橋朗子/滝沢和子/武本寿子/中村和巳/根岸孝子/橋本美智
三間榮治/宮川絢子/山本喜美子

【音声訳】市川能里子/稲富かつ子/井上三枝子/荻野京子/嘉藤百合
齋藤加代子/斉藤正子/坂井信子/新保裕美子/鈴木美枝子/高橋綾子
高橋憲子/戸島美江/速水美智子/吉倉千恵

【デイジー編集】狩谷ケン子/柴田弘子/中村一江/林章子/横山トシ子
吉岡廣子

7 点字図書館から

●第148回 芥川賞・直木賞受賞作の貸出し予約を受付けます

第148回 芥川賞・直木賞（日本文学振興会主催）の受賞作が、次のとおり決定しました。何れの作品も貸出し予約を受け付けますので、予約を希望される方は当館へお申込みください。

☆芥川賞

「abさんご」・黒田夏子（くろだ なつこ）著

☆直木賞

「何者」・朝井リョウ（あさい りょう）著

「等伯」・安部龍太郎（あべ りゅうたろう）著

●寄贈図書の貸出しご案内

平成24年度版「ユニバーサルデザイン配慮家電製品リスト～高齢者や障がいのある人にも使いやすいと思われる家電製品～」(墨字・点字併記版)

一般財団法人・家電製品協会から寄贈を受けたもので、操作が理解し

やすい、表示と表現がわかりやすい、楽な姿勢と動作で負担なく使える、動きやすいなど使用に配慮している、誤操作防止など安全に安心して使える、手入れがしやすいなど長く使える等で配慮されていると思われる家電製品について、簡単な特徴を記したリストです。

このリストの貸出しを希望される方は、当館へお申込みください。また、手許に置きたい等で購入を希望される方は、次にて実費販売（1部 2,000 円、送料別）がされていますので、お申込みください。

☆申込み先1：盲人福祉研究会 用具部

〒 430-0812 静岡県浜松市南区本郷町 1296-11

TEL 053-463-2764 FAX 053-463-2226

☆申込み先2：特定非営利活動法人 六星 ウイズ 半田

〒 431-3124 静岡県浜松市東区半田町 104-3

TEL 053-435-5225 FAX 053-435-5955

●ラジオでテレビ番組が楽しめる！

テレビ放送のデジタル化により、FM放送でテレビ番組を聞くことができなくなりましたが、昨年の秋にワンセグ機能を活用してテレビ音声を聞くことができるラジオ（通称：ワンセグラジオ）が販売されました。

これを受け総務省・テレビ受信者支援センター（通称：デジサポ）から、地デジテレビ音声の様々な方法による楽しみ方を紹介したチラシ（点字、大活字、CD、墨字のセット）とワンセグラジオ商品一覧が発行されました。

☆「地デジテレビ音声の様々な方法による楽しみ方」紹介チラシを希望される方に差し上げます。ご希望の方は当館へご連絡ください。

☆「ワンセグラジオ商品一覧」は、点字版利用者については本号の別冊として同封、音声版利用者については本号のテープ又はCDの最後部に収録してあります。

●平成 25 年度のデジタル音声再生機（プレクストーク）貸出し手続き（新規・更新）のお知らせ

当館では、デジタル音声再生機（プレクストーク）の貸出しを行っています。この貸出しは、一人でも多くの当館利用者にデイジー図書の快適さを実感してもらったり、その操作に慣れていただくために実施しているものですが、毎年3月に貸出更新手続きを行っています。

新規で借受けたい方、継続して借受けたい方の手続きは、それぞれ次

のとおりです。

(1) 新規に借受けを希望する方

3月16日(土)までに当館へ電話、ファックス、メールでお申込みください。お申込みの際は、氏名、性別、年齢、住所、電話番号、障害の程度、市町村が実施している日常生活用具給付事業利用の可否をお知らせください。

(2) 継続して借受けたい方

3月16日(土)までに当館から、利用状況並びに返却又は継続借受希望等を電話で確認させていただきます。当館開館時間中に電話対応が困難な方は、電話連絡の都合がよい時間を2月23日(土)までにご連絡ください。

(3) 貸出決定方法

貸出台数に限りがありますので、視覚障害の程度、日常生活用具給付事業利用の可否等を参考に優先順に決定させていただきます。

(4) 貸出し期間

平成25年度内での必要期間の貸出とし、最長でも4月1日から来年3月31日までとなります。

(5) 図書利用がない場合の貸出し中止など

借受けている方が、3か月以上にわたってデイジー図書、デイジー雑誌、一般CDの利用がなかった場合は、貸出しを中止する場合があります。ほか、故障した場合の修理費、機器の送料等は借受け者の負担となります。

(6) 申込み・照会先

新潟県点字図書館 デジタル音声再生機貸出係

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1

TEL 025-381-8111 FAX 025-381-8115

E-mail tosyo@ngt-shikaku.jp

●デイジー図書を聞くための専用機器の操作説明を希望に応じて実施しています！

デジタル録音方式によるデイジー図書は、音がクリアで、聞きたい場所にしおりの印を幾つでも付けられ、その場所へ即座に移動できるなど、とても聞きやすく使い勝手のよい図書です。

このデイジー図書を聞くためには、プレクストーク等の音声再生機が必要です。当館では、プレクストークを初めて使われる方、もっと様々な使い方や高度な使い方をマスターしたい方を対象に、ご要望に応じて自宅や最寄りの社協及び公的な施設に職員を派遣し、機器の使用説明会を開催しています。

プレクストーク等の音声再生機の使い方を知りたい、もっと上手に使用したいと思っている方は、ご遠慮なく当館にお申込みください。

●当館製作録音雑誌の完全デイジー化のお知らせ

当館で製作している録音雑誌、週刊トピックス悠久、文芸えちご、ラジオ深夜便の3誌は現在、デイジー版とテープ版の貸出を行っていますが、カセットテープコピー機が製造・販売中止になり、テープの需要も少なくなってきた状況に鑑み、平成25年3月末をもって、これらの雑誌のテープ版を中止させていただきますので、ご了承ください。平成25年4月からは、デイジー版のみの取扱いとさせていただきます。

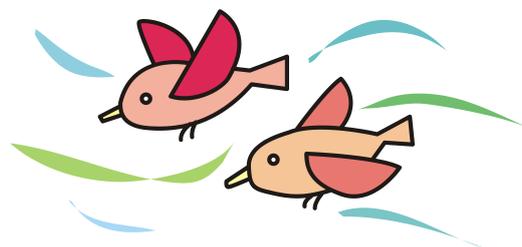
現在、テープ版でご利用いただいている方には、3月末までに当館からその旨を個別に連絡させていただきますが、お早めにプレクストーク等のデイジー図書再生機を備えていただきますようお願いいたします。

視覚障害の等級が1、2級の方は、日常生活用具として市町村へ申請することができますので、お住まいの市町村の福祉担当課へお問い合わせください。

なお、身体障害者手帳の障害等級が3級～6級で、日常生活用具が支給対象外の方に対しては、当館で再生専用機の優先貸出を行っています。貸出しを希望される場合は、当館へお申し出ください。

●利用者アンケートへのご協力ありがとうございました

毎年実施しています点字図書館利用者アンケートへのご協力、ありがとうございました。集計結果は、当館情報誌「メールにいがた」でご報告します。



8 Q&A

利用者の皆様から寄せられたご質問に、お答えします

Q：「メールにいがた」新刊案内の電子メール版の文中で、デイジー図書の「録音総時間」が「D14:15」のような表記になっているため、音声読み上げの際、何を指すのか分かりづらい。

A： 大変申し訳ありませんでした。早速、今号（100号）より、新刊案内の電子メール版では、「録音総時間」の表記を、次のように改めさせていただきました。

今までの表記「D14:15」→「デイジー14時間15分」

なお、新刊案内の「墨字版」は、これまで通りの表記とさせていただきます。

Q：ずっとカセットで読書をしていたのですが、最近、デイジー（CD）を聴くようになりました。デイジー図書も、カセットのように、聴き終わった後で、図書の先頭に戻す（巻き戻しをする）必要がありますか？

A：デイジー図書をお聴きになる場合には、聴き終わった後に、巻き戻しの操作をしていただく必要はありません。聴き終わったら、そのまま、CDを取り出して、ご返却ください。

9 開館及び電話受付時間と2～4月の休館日

● 開館及び電話受付時間：午前9時～午後5時

● 2～4月の休館日：

☆2月の定例休館日

4日（月）・11日（月）・12日（火）・18日（月）・25日（月）

☆3月の定例休館日

4日（月）・11日（月）・18日（月）・21日（木）・25日（月）

☆4月の定例休館日

1日（月）・8日（月）・15日（月）・22日（月）・29日（月）・30日（火）

~~~~~

**【編集後記：巳年の思い】**

今年は巳年。長年のデフレ、格差の拡大、人口減少など、難しい迷路に迷い込んでしまった日本、そんな中で巳年を迎えました。巳年の象徴である蛇は脱皮しながら成長していきます。この蛇にあやかり、今年こそ本当に日本再生の年になって欲しいと願っています。

そして今年、当館は新潟県からの指定管理、第2期目（平成21年度～平成25年度）の最終年度を迎えます。第2期目の総仕上げの年であり、同時に第3期目の指定管理者の募集と審査・決定が行われる節目の年にあたります。職員一同身を引き締めて新年を迎えました。

（肥田野）

~~~~~

メールにいがた新潟県点字図書館だより
(第100号2013年2月)

発行

新潟県点字図書館

〒950-0121

新潟市江南区亀田向陽 1-9-1

新潟ふれ愛プラザ

TEL 025-381-8111

FAX 025-381-8115

E-mail tosyo@ngt-shikaku.jp

URL <http://ngt-shikaku.jp/>

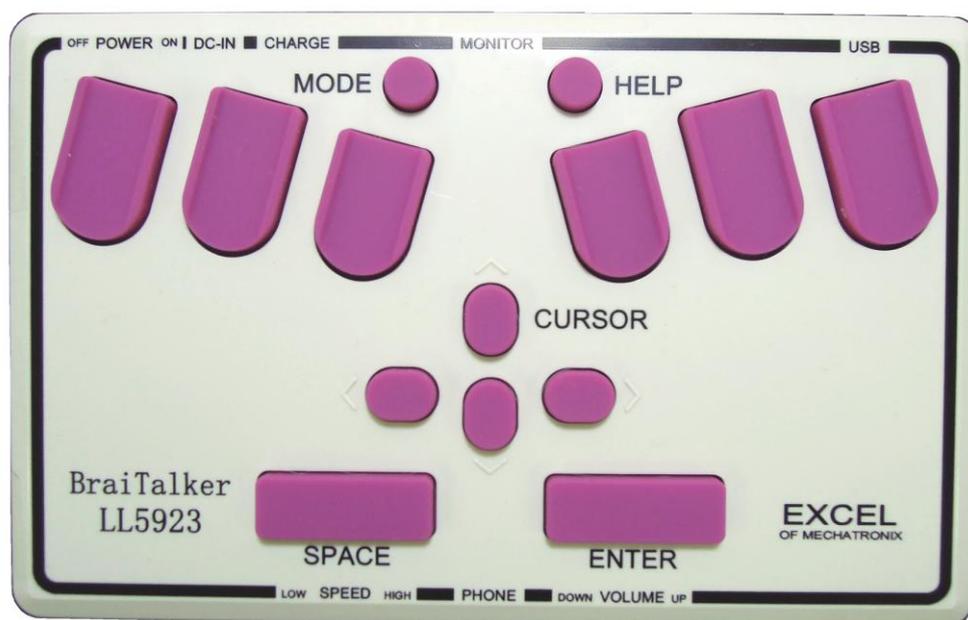
日常生活支援機器情報コーナー(no.4)

Brai Talker (ブライトーカー)

視覚障害者は「メモを取る」ということが苦手です。特に外出先ではついつい記憶に頼ってしまいます。パソコンでいくらメモをしても外出先でそれを開いたりすることはなかなかできない場合もあります。そこで便利なのが「ブレイルメモ」という携帯型の点字ディスプレイです。しかし、この機械は点字がすらすら読める人でないと残念ながら使えません。

そんな悩みを解決する商品が発売されました。商品名は「ブライトーカー」です。入力は6点の点字入力ですが、点字が出るのではなく、すべて音声で読んでくれます。また、点字ディスプレイより20万円も安い52,290円。

点字ができないという視覚障害者でも書くことを覚えるのはちょっとした努力で行えます。また、声が出てくれるので、点字の学習にもなるかもしれません。書いたものはひらがなでパソコンに送ることもできます。また、パソコン用の外付け点字キーボードとしての利用も可能です。



【仕様】

外形寸法： W158mm × D100mm × H22mm

重さ： 約 300g

音声出力： 内臓スピーカーおよびイヤホン端子

記録文字数： 6000文字 × 32ファイル 計 192,000文字 (400字詰め原稿用紙 480枚分)

点字キー入力： パーキンスまたはライトブレイラ

使用電池： 充電式単4型ニッケル水素バッテリー2本 (内蔵)

通常使用時間： 充電状態で連続使用 約8時間

【記事掲載ご協力及び本製品のお問合せ先】

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

荒川 明宏の毎日がレポリユーション <http://www.radiojapan.jp/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigy@rabbit-tokyo.co.jp

(別冊)

ワンセグラジオ商品一覧

=====

各商品について、以下に、販売会社名、品名・型名、発売日、価格、電源、サイズ、重量、音声ガイドの有無、商品に関する問い合わせ先を、ご紹介いたします。

商品の仕様や、購入に関するご質問など、詳細につきましては、各商品ごとの問い合わせ先に、ご照会ください。

商品1

会社名：(株) アステム

品名・型名：テレビが聞けるラジオ (TRKO-01B)

発売日：2012年9月1日

価格：29,000円(税込)

電源：ACアダプタ、単三電池(4本)

サイズ：170mm×135mm×45mm

重量：約580グラム

音声ガイド：あり

問い合わせ先：(株) アステム カスタマーセンター・西田さま(電話：06-4801-9730)

商品2

会社名：加美電子工業(株)

品名・型名：ワンセグ・オーディオ・レシーバー(NIC100)

発売日：2012年10月26日

価格：27,300円(税込)

電源：ACアダプタ、アルカリ単三電池(4本)

サイズ：140mm×72mm×30mm

重量：約270グラム

音声ガイド：あり

問い合わせ先：加美電子工業(株) 総務経理グループ・岡田さま(電話：06-6791-8151)

商品3

会社名：エスケイネット（株）

品名・型名：地デラジ（SK-R1FA）

発売日：2012年12月下旬

価格：8,980円（税込）

電源：ACアダプタ、単三電池（4本）

サイズ：182mm×100mm×55mm

重量：約320グラム

音声ガイド：あり

問い合わせ先：エスケイネット（株） 営業推進部・田野さま（電話：045-470-0183）

商品4

会社名：ソニー（株）

品名・型名：XDR-63TV

発売日：2012年10月20日

価格：約18,000円（オープン価格）

電源：単四乾電池（2本）

サイズ：55mm×101mm×15mm

重量：約91グラム

音声ガイド：なし

問い合わせ先：ソニーマーケティング（株）・買い物相談窓口（電話：0120-777-886）

商品5

会社名：（株）ティーエムワイ

品名・型名：オンエア

発売日：2012年10月26日

価格：7,980円（税込）

電源：リチウムイオン充電式電池

サイズ：63mm×89mm×22mm

重量：約89グラム

音声ガイド：なし

問い合わせ先：（株）ティーエムワイ カスタマーサポート・加藤さま（電話：0284-40-1508）

商品6

会社名：(株) ヤザワコーポレーション

品名・型名：RD3WH

発売日：2012年9月末

価格：7,600円(税抜)

電源：単四乾電池(4本)

サイズ：68mm×97mm×25mm

重量：約99.5グラム

音声ガイド：なし

問い合わせ先：(株) ヤザワコーポレーション お問い合わせセンター
(電話：03-5812-1051)

商品7

会社名：ツインバード工業(株)

品名・型名：AV-J125W

発売日：2012年11月中旬

価格：15,750円(税込)

電源：ACアダプタ、単三電池(4本)

サイズ：200mm×150mm×80mm

重量：約560グラム

音声ガイド：なし

問い合わせ先：ツインバード工業(株) お客様サービス係(電話：
0120-337-455)